

岩手県立農業試験場研究報告  
 第30号 63 - 93 ( 1993 )  
 [ 資 料 ]

奨励品種編入に関する資料

水稻 (うるち) ひとめぼれ (東北 143号)

平成 2 年 2 月

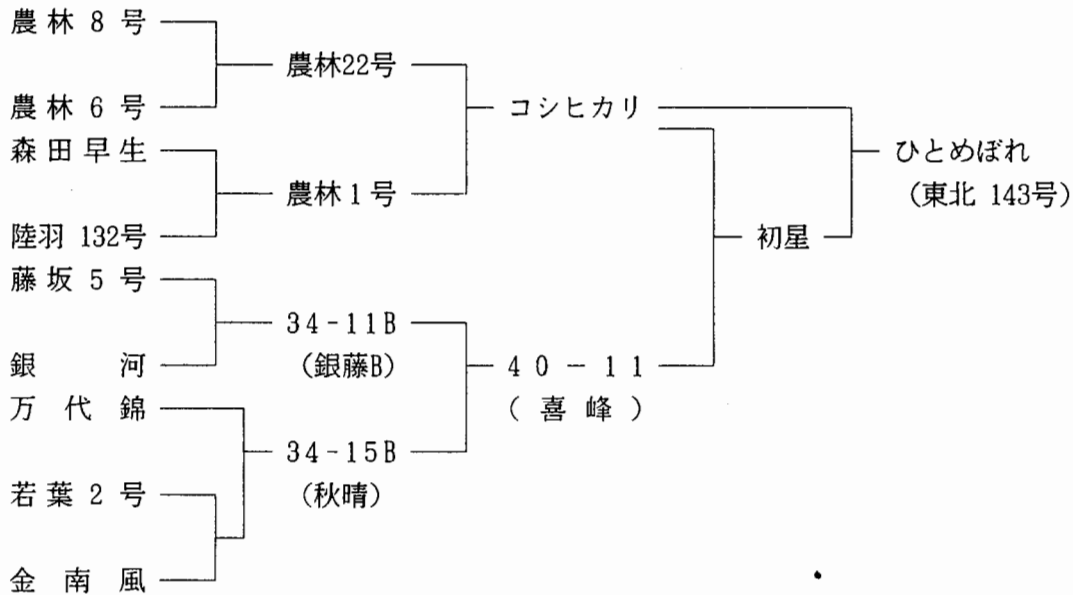
I 来 歴

「ひとめぼれ」は宮城県古川農業試験場において育成された品種である。食味が極良で耐冷性の強い中生品種の育成を目標として、「コシヒカリ」を母親、「初星」を父親として昭和57年7月に交配を行い、同年8月から昭和58年9月までF<sub>1</sub>からF<sub>3</sub>までを温室栽培により世代促進を行った。昭和59年に本田においてF<sub>4</sub>雑種集団を栽培して個体選抜を行い、翌年から系統栽培して選抜固定を図ってきた系統である。

昭和62年F<sub>7</sub>世代で「東北 299」の試験番号を付して、生産力検定試験、系統適応性試験ならびに特性検定試験に供試し、昭和63年に「東北 143号」の系統名で各県に配布された。

岩手県においては、昭和63年に奨励品種決定予備調査、平成元年からは奨励品種決定本調査ならびに現地試験に供試して、収量および特性を検討した結果有望と認められた。

ひとめぼれ (東北 143号) の系譜



## II 特性の概要

### 1. 形態的特性

- 1) 移植時の苗丈、葉色は「ササニシキ」並である。
- 2) 最高分けつ期ころの草丈は「ササニシキ」よりやや長く、「あきたこまち」・「チヨホナミ」よりやや短い。莖数は「ササニシキ」より少なく、「あきたこまち」より多い。
- 3) 成熟期の稈長は「ササニシキ」並、穂長は「ササニシキ」よりやや長く、「トヨニシキ」よりやや短い。穂数は「ササニシキ」より少なく、「トヨニシキ」より多い、やや長稈の偏穂数型品種である。
- 4) 穂の粒着密度は、「ササニシキ」より低い、「やや疎」である。2次枝梗の着粒が「ササニシキ」より少なく「あきたこまち」並である。出穂後の登熟速度は「ササニシキ」より早く、登熟歩合も「ササニシキ」より高い。
- 5) 熟色は良好で、稈は「ササニシキ」よりやや太い「中～やや細」、稈の剛柔は「やや柔」で「ササニシキ」より剛い。少程度の短芒を有し、ふ先色は黄白、脱粒性は難である。
- 6) 玄米の形は「ササニシキ」よりやや円く、粒厚が厚い。千粒重は「ササニシキ」、「チヨホナミ」より重い。玄米の外観品質は、「ササニシキ」よりやや優れる。
- 7) 玄米の搗精時間は「ササニシキ」より長い、適搗精時間における搗精歩合は「ササニシキ」より高い。白度は「ササニシキ」並である。

### 2. 生態的特性

- 1) 出穂期は「ササニシキ」並、成熟期は「ササニシキ」よりやや早く、「トヨニシキ」よりやや早い「晩生の中」である。
- 2) 耐倒伏性は「ササニシキ」よりやや強く、「あきたこまち」よりやや弱い「やや弱」である。
- 3) 収量性は「ササニシキ」並～やや少収である。「ササニシキ」に比べ年次による変動が少なく安定している。
- 4) いもち病真性抵抗性遺伝子型はP i - i と

推定され（「ササニシキ」はP i - a, 「あきたこまち」はP i - a, i), 葉いもちの圃場抵抗性はやや弱、穂いもちの圃場抵抗性は中である。

- 5) 障害型耐冷性（減数分裂期～出穂期）は「ササニシキ」、「あきたこまち」よりはるかに強く、「トドロキワセ」並～以上の「極強」である。
- 6) 穂発芽性は「トドロキワセ」並の「難」である。（「ササニシキ」はやや易）

### 3. 食味及び食味関連成分

- 1) 食味評価は「ササニシキ」よりあきらかに良好である。
- 2) 白米中の粗蛋白含量は「ササニシキ」並、アミロース含量は「ササニシキ」並～やや低い（いずれも小さい値ほど良食味）。テクスチャー値（粘弾性）は「ササニシキ」・「あきたこまち」より小さく、食感が優れる。

## III 奨励品種に採用した理由

最近の米穀情勢からみて、消費者の嗜好に合った食味の良い、商品性の高い良食味米の生産が重要視されている。岩手県における晩生種の「ササニシキ」は、北上川中下流地帯及び南部沿岸地域に普及しており、平成2年度の作付面積は29,691 ha（全作付けの41.1%, 食糧事務所調べ）で、県内の作付面積第1位の品種である。「ササニシキ」は品質及び食味が良く、本県の良質・良食味米生産に大きく寄与している。

しかし、「ササニシキ」は本県におけるうるち品種の中では最も晩生であり、年次・地域によって、収量・品質にやや不安定さが見られる。また、いもち病抵抗性及び耐倒伏性が弱く、栽培管理面でも対応しきれない面がある。このため、耐病性・耐倒伏性の強い、良質・良食味品種が求められていた。

「ひとめぼれ」は「ササニシキ」に比べて、成熟期が並～やや早く、耐倒伏性およびいもち病抵抗性は葉・穂ともやや強い。収量性は並～やや劣るが、年次による変動が少なく安定している。品

質はやや優り、障害型耐冷性は極強、穂発芽性は難、食味はあきらかに優る品種である。

以上の特性を持つ「ひとめぼれ」を奨励品種に採用し、本県中南部の作柄安定化と産米の品質・食味の向上を図る。

#### IV 適応地帯および面積

北上川中下流地帯の平坦部。

安定栽培可能面積（標高100m以下）

25,000ha

#### V 栽培上の留意点

##### 1. 育苗

種子の休眠性が強いので、催芽前の浸種を十分に行う。

##### 2. 生育の特徴

生育期の葉色は「ササニシキ」より濃く、茎葉は立つ。茎数は6月中旬までは「ササニシキ」並であるが、同一施肥法では最高分げつ茎数・穂数は「ササニシキ」より少ない。

##### 3. 窒素施肥法

基肥窒素は「キヨニシキ」並とし、「ササニシキ」よりやや多肥（窒素成分1kg/10a程度増し）とする。ただし、「ひとめぼれ」は「ササニシキ」より耐倒伏性がやや強いが、「あきたこまち」より弱いので、多肥栽培は倒伏や品質低下の原因となるので避ける。

分げつ期追肥は基本的には施用しない。

追肥の重点は幼穂形成期とし、通常の生育では窒素成分で2kg/10a以内を基本として生育状況によって加減する。

##### 4. 栽植密度

最高分げつ期茎数・穂数・1穂粒数が「ササニシキ」より少ないため、栽植密度は十分（20株/m<sup>2</sup>以上）確保する。

##### 5. いもち病防除

いもち病抵抗性は「ササニシキ」にやや優るが、「あきたこまち」より劣るため「ササニシキ」に準じた適期防除に努める。

##### 6. 刈取適期

「ササニシキ」より登熟が早いので、当面は出穂後の平均気温積算で900~1150℃を目安とし、日照時間や実際の登熟状況を観察して遅刈りにならないようにする。

##### 7. 玄米の調整ふるい目

玄米の調整ふるい目は1.9mmとする。

#### VI 試験成績

##### 1. 特性調査

##### 1) 観察調査結果の総括表（昭和63年～平成2年、県南分場）

品種名	草型	稈		芒		ふ先色	粒着密度	脱粒性
		細太	剛柔	有無	長短			
ひとめぼれ	偏穂数型	中～や細	や柔	少	短	黄白	や疎	難
(比)ササニシキ	穂数型	や細	柔	少	短	黄白	中	難
(比)チヨホナミ	偏穂数型	中	や剛	少	短	黄白	中	難
(比)あきたこまち	偏穂数型	中	中	稀	短	黄白	中	難
(比)トヨニシキ	中間型	中	や剛	少	短	黄白	中	難

2) 玄米の形 (平成2年, 県南分場)

品種名	標肥					多肥				
	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	長/幅	長×幅	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	長/幅	長×幅
ひとめぼれ	5.07	3.02	2.18	1.68	15.31	5.06	2.96	2.16	1.70	14.92
(比) ササニシキ	5.03	2.90	2.12	1.73	14.59	5.08	2.89	2.08	1.76	14.68
(比) チヨホナミ	5.10	2.95	2.15	1.73	15.05	5.12	2.98	2.11	1.71	15.26
(比) あきたこまち	5.17	2.92	2.12	1.77	15.10	5.15	2.91	2.10	1.77	14.99

注) 奨励本調査の玄米を供試

3) 玄米の形 (平成1年, 宮城県古川農試, 参考)

品種名	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	長/幅	長×幅
ひとめぼれ	4.9	2.8	1.9	1.75	13.72
(比) ササニシキ	4.9	2.8	2.0	1.75	13.72
(比) トヨニシキ	4.8	2.9	2.0	1.66	13.92
(比) コガネヒカリ	5.0	2.9	2.0	1.72	14.50

4) 玄米の粒厚別重量歩合 (%) (県南分場)

施肥	品種名	~2.2	~2.1	~2.0	~1.9	~1.8	~1.7	1.7mm	1.9mm
		mm	mm	mm	mm	mm	mm	未満	以上
標肥	ひとめぼれ	25.8	39.7	25.4	6.6	1.7	0.7	0.1	97.5
	(比) ササニシキ	4.5	25.7	46.9	16.8	4.4	1.3	0.2	93.9
	(比) チヨホナミ	10.1	35.7	41.4	10.1	2.1	0.5	0.1	97.3
	(比) あきたこまち	11.5	28.1	42.4	15.3	2.2	0.5	0.0	97.3
多肥	ひとめぼれ	18.4	34.9	32.9	9.7	2.7	1.2	0.2	95.9
	(比) ササニシキ	3.0	19.6	46.7	21.0	6.3	3.1	0.3	90.3
	(比) チヨホナミ	9.0	35.0	38.6	11.7	3.8	3.8	1.5	94.3
	(比) あきたこまち	7.2	26.0	43.4	17.6	4.5	1.1	0.2	94.2

注) 平成2年, 奨励本調査の玄米を供試

5) 玄米の粒厚別重量歩合 (%) (宮城県古川農試, 参考)

品種名	~2.2	~2.1	~2.0	~1.9	~1.8	~1.7	1.7mm	1.9mm
	mm	mm	mm	mm	mm	mm	未満	以上
ひとめぼれ	2.6	35.8	45.3	7.6	3.9	2.4	2.4	91.3
(比) ササニシキ	0.4	8.4	64.1	12.9	5.5	3.7	5.0	85.8
(比) トヨニシキ	1.5	44.0	43.2	5.3	2.2	1.5	2.3	94.0

注) 平成1年, 生産力検定標肥区, 200gを2反復

2. 生育調査

1) 耕種概要

項目/年次 (試験名)	昭和63 (奨予)	平1 (奨本)	平2 (奨本)
育苗様式	中苗	稚苗	稚苗
播種期(月日)	4.18	4.17	4.16
移植期(月日)	5.23	5.9	5.9
栽植密度(株/m <sup>2</sup> ) (畦間×株間)	22.2 (30cm× 15cm)	22.2 (30cm× 15cm)	22.2 (30cm× 15cm)
N施肥量	標肥区 基肥	0.5	0.5
	追肥(-15日)		0.2
----- 0.75 -----			
(Kg/a) 多肥区	基肥	(基肥のみ)	0.7
	追肥(-25日)		0.15
	追肥(-15日)		0.15

注) 中苗, 稚苗: ビニールハウス方式

2) 苗調査(県南分場)

品種名	草丈	葉齢	第1葉鞘長	第2葉身長	乾物重	乾物重/草丈
	(cm)	(葉)	(cm)	(cm)	(g/100 個体)	mg/cm
ひとめぼれ	12.4	2.0	4.2	7.7	0.95	0.85
(比) ササニシキ	11.6	2.1	3.8	7.2	0.80	0.86
(比) チヨホナミ	(11.1)	(2.2)	(3.3)	(6.5)	1.03	0.93
(比) あきたこまち	12.3	2.0	3.7	7.2	1.10	0.92
(比) トヨニシキ	12.8	2.1	3.7	7.7	0.99	0.93

注1) 平成1年~2年 の平均

注2) 「チヨホナミ」の( )内および全品種の乾物重および乾物重/草丈は平成2年のみ

3) 出穂期・成熟期調査 (県南分場奨決予備調査)

品種名	出穂期 (月. 日)	成熟期 (月. 日)	成熟 日数 (日)	倒伏 程度	成熟期における		
					稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)
ひとめぼれ	8.21	10.15	55	0.8	87.0	17.5	473
(比) ササニシキ	8.21	達せず	-	1.8	86.3	16.8	516
(比) あきたこまち	8.15	10.2	48	0	85.3	17.3	447
(比) トヨニシキ	8.18	10.10	53	0	85.1	17.7	404

注) 昭和63年, 倒伏程度は0~5の6段階評価 (以下同様)

3) 出穂期・成熟期調査

施肥	品種名	年次	出穂期 (月. 日)	成熟期 (月. 日)	成熟 日数 (日)	倒伏 程度	成熟期における		
							稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)
	ひとめぼれ	平1	8.10	9.29	50	1.5	83.6	17.8	507
		平2	8.5	9.16	42	0	78.1	17.3	522
		平均	8.8	9.23	46	0.8	80.9	17.6	515
標	(比) ササニシキ	平1	8.11	10.9	60	3.5	85.0	17.5	546
		平2	8.5	9.22	48	1.7	78.0	17.2	556
		平均	8.8	10.1	54	2.6	81.5	17.4	551
肥	(比) チヨホナミ	平1	-	-	-	-	-	-	-
		平2	8.3	9.19	47	なびき	75.2	17.4	493
		平均	-	-	-	-	-	-	-
	(比) あきたこまち	平1	8.6	9.24	49	1.5	83.8	17.5	465
		平2	7.31	9.9	40	0	76.9	17.1	507
		平均	8.3	9.17	45	0.8	80.4	17.3	486
	ひとめぼれ	平1	8.11	10.4	54	3.2	91.7	18.9	551
		平2	8.6	9.21	46	1.2	83.2	18.2	551
		平均	8.9	9.28	50	2.2	87.5	18.6	551
多	(比) ササニシキ	平1	8.11	10.9	59	4.2	91.2	18.5	590
		平2	8.6	9.29	54	4.1	84.0	18.1	593
		平均	8.9	10.4	57	4.2	87.6	18.3	592
肥	(比) チヨホナミ	平1	-	-	-	-	-	-	-
		平2	8.4	9.21	48	0.5	77.8	18.3	493
		平均	-	-	-	-	-	-	-
	(比) あきたこまち	平1	8.7	9.28	52	1.9	89.5	18.0	489
		平2	8.1	9.16	46	1.2	83.6	17.7	518
		平均	8.4	9.22	49	1.6	86.6	17.9	504

注) 県南分場, 奨決本調査

3. 収量調査

1) 奨決予備調査 (昭和63年, 県南分場)

品種名	a 当たり (kg)				対標準 精玄米比 (%)	もみ/ わら (%)	籾摺歩合 (%)	屑米重 歩合 (%)
	全重	わら重	精籾重	精玄米重				
	ひとめぼれ	153.9	71.9	77.2				
(標) ササニシキ	150.0	71.7	68.2	48.8	100	0.95	71.9	8.1
(比) あきたこまち	150.9	74.8	72.2	57.7	118	0.97	80.0	2.0
(比) トヨニシキ	148.9	71.0	73.4	57.8	118	1.03	79.0	2.2

注) 1.7 mmふるいによる

2) 奨決本調査 (県南分場)

施 肥	品種名	年次	a 当たり (kg)				対標準 精玄米比 (%)	もみ/ わら (%)	籾摺歩合 (%)	屑米重 歩合 (%)
			全重	わら重	精籾重	精玄米重				
			ひとめぼれ	平1	149.2	68.9				
	平2	150.0	69.6	74.4	59.9	87	1.07	80.4	1.1	
	平均	149.6	69.3	75.2	59.0	93	1.09	78.4	2.3	
(標)	平1	151.8	66.7	77.5	57.7	100	1.16	74.5	5.4	
ササニシキ	平2	159.3	66.7	87.0	69.0	100	1.30	79.2	2.5	
	平均	155.6	66.7	82.3	63.4	100	1.23	76.9	4.0	
(比)	平1	-	-	-	-	-	-	-	-	
チヨホナミ	平2	161.1	73.0	81.9	66.6	97	1.12	81.3	0.7	
	平均	-	-	-	-	-	-	-	-	
(比)	平1	149.2	67.0	76.5	60.8	105	1.14	79.5	1.9	
あきたこまち	平2	148.9	69.6	74.7	59.8	87	1.07	80.4	1.1	
	平均	149.1	68.3	75.6	60.3	95	1.11	80.0	1.5	
ひとめぼれ	平1	160.3	77.4	77.5	59.6	114	1.00	76.9	5.8	
	平2	166.6	75.6	85.3	68.0	103	1.13	79.5	2.3	
	平均	163.5	76.5	81.4	63.8	108	1.07	78.2	4.1	
(標)	平1	156.7	74.1	72.7	52.1	100	0.98	71.7	7.1	
ササニシキ	平2	164.1	71.1	86.6	65.8	100	1.22	75.8	5.9	
	平均	160.4	72.6	79.7	59.0	100	1.10	73.8	6.5	
(比)	平1	-	-	-	-	-	-	-	-	
チヨホナミ	平2	167.8	72.2	90.2	72.3	123	1.25	80.2	2.2	
	平均	-	-	-	-	-	-	-	-	
(比)	平1	162.2	75.5	80.2	62.7	119	1.06	78.6	3.7	
あきたこまち	平2	163.3	71.5	85.0	67.0	102	1.19	78.9	2.8	
	平均	162.8	73.5	82.6	64.5	109	1.13	78.8	3.3	

注) 1.7 mmふるいによる

4. 収量構成要素調査

1) 奨決予備調査 (昭和63年, 県南分場)

品種名	玄米重 (Kg/a)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	1穂籾数 (粒)	m <sup>2</sup> 当り籾数 (×10 <sup>3</sup> 粒)	登熟歩合 (%)	玄米千粒重 (g)
ひとめぼれ	61.0	473	69.3	32.8	85.3	21.8
(比) ササニシキ	48.8	516	76.2	39.3	60.4	20.2
(比) トヨニシキ	57.8	404	78.0	31.5	89.0	20.9

2) 奨決本調査 (県南分場)

肥	品種名	年次	玄米重 (Kg/a)		穂数 (本/m <sup>2</sup> )		枝梗数 (本/数)		枝梗別着 籾比率 (%)		1穂 籾数 (粒)(×10 <sup>3</sup> )	m <sup>2</sup> 当 籾数 (×10 <sup>3</sup> )	登熟 歩合 (%)	玄米 千粒重 (g)
			平1	平2	平均	1次	2次	1次	2次					
肥	ひとめぼれ	平1	58.1	59.9	507	522	8.2	6.7	71	29	60.1	30.4	86.2	22.4
		平2	59.9	522	7.2	6.3	69	31	55.5	29.0	91.9	22.6		
		平均	59.0	515	7.7	6.5	70	30	57.8	29.7	89.1	22.5		
標	(比) ササニシキ	平1	57.7	546	8.5	10.8	60	40	77.6	41.0	66.0	21.5		
		平2	69.0	556	7.5	10.3	58	42	69.9	38.8	85.5	20.9		
		平均	63.4	551	8.0	10.6	59	41	73.8	39.9	75.8	21.2		
肥	チヨホナミ	平1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		平2	66.6	493	7.8	9.6	61	39	66.9	33.0	92.9	22.0		
		平均	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
多	(比) あきたこまち	平1	60.8	465	8.8	7.6	70	30	65.8	30.6	89.0	22.3		
		平2	59.8	507	8.0	6.9	72	28	58.6	29.7	95.3	21.4		
		平均	60.3	486	8.4	7.3	71	29	62.2	30.2	92.2	21.9		
多	ひとめぼれ	平1	59.6	551	8.7	8.6	67	33	69.1	38.1	71.7	22.1		
		平2	68.0	551	7.4	7.1	66	34	64.5	35.5	86.5	22.2		
		平均	63.8	551	8.1	7.9	67	33	66.8	36.8	79.1	22.2		
多	(比) ササニシキ	平1	52.1	590	8.5	11.6	59	41	79.9	47.2	52.3	21.2		
		平2	65.8	593	7.8	12.2	54	46	77.2	45.6	70.3	20.8		
		平均	59.0	592	8.2	11.9	57	43	78.6	46.4	61.3	21.0		
肥	チヨホナミ	平1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		平2	72.3	493	7.8	12.3	55	45	76.4	37.7	89.1	21.5		
		平均	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
肥	(比) あきたこまち	平1	62.0	489	9.0	9.5	68	32	73.4	34.9	80.1	22.0		
		平2	67.0	518	8.1	8.6	65	35	71.6	37.1	85.4	21.0		
		平均	64.5	504	8.6	9.1	67	33	72.5	36.0	82.8	21.5		



5. 現地調査の成績

1) 現地調査における出穂期・成熟期・収量及び概評(稚苗育苗)

場 所	施 肥	年 次	出穂期(月・日)				収量(Kg/a)				評価	概 評	
			ひとめぼれ	ササニシキ	チヨホナミ	あきたこまち	ひとめぼれ	ササニシキ	チヨホナミ	あきたこまち		優 点	欠 点
紫 波	標	平1	8.13	8.13	—	8.9	52.4	51.8	—	48.2	平1	熟色・品質良	
	肥	平2	8.9	8.9	8.6	8.5	61.4	65.3	69.4	58.8	○		
		平均	8.11	8.11	—	8.7	56.9	58.6	—	53.5	平2	熟色・品質良 稈質ササニシキ より強	
		多	平1	8.13	8.13	—	8.9	59.1	56.5	—	48.1	○	
	肥	平2	8.9	8.9	8.6	8.5	61.6	67.5	62.4	51.9			
		平均	8.11	8.11	—	8.7	60.4	62.0	—	50.0			
花 巻	標	平均	8.9	8.9	8.8	8.6	70.3	54.6	56.5	53.0			
和 賀	標	平1	8.12	8.13	—	8.8	55.5	51.0	—	56.5	平1	穂数確保容易	品質やや劣る (乳白、溝深い)
	肥	平2	8.9	8.9	8.6	8.5	48.5	59.3	55.9	48.1	△		
		平均	8.11	8.11	—	8.7	52.0	55.2	—	52.3	平2	ササニシキより 短稈、熟色良、	収量やや少
		多	平1	8.12	8.13	—	8.8	48.9	46.9	—	59.6	△○	
	肥	平2	8.10	8.9	8.7	8.5	46.7	54.1	59.2	62.7		千粒重大	
		平均	8.11	8.11	—	8.7	47.8	50.5	—	61.2			
花 泉	標	平1	8.11	8.12	—	—	50.6	54.1	—	—	平1	品質良、ササニシキより良	分げつ少
	肥	平2	8.7	8.7	8.2	—	57.3	68.8	68.2	—	○		
		平均	8.9	8.10	—	—	54.0	61.5	—	—	平2	品質良、食味極良	
		多	平1	8.11	8.12	—	—	53.9	51.9	—	—	◎	
	肥	平2	8.8	8.8	8.3	—	62.3	68.4	63.4	—			
		平均	8.10	8.10	—	—	58.1	60.2	—	—			
藤 沢	標	平1	8.9	8.9	—	—	54.9	54.8	—	—	平1	品質良	
	肥	平2	8.6	8.6	8.5	—	58.1	55.7	54.5	—	○		
		平均	8.8	8.8	—	—	56.5	55.3	—	—	平2	良質、強稈	
		多	平1	8.10	8.10	—	—	55.9	54.6	—	—	◎	
	肥	平2	8.6	8.6	8.5	—	58.8	58.7	60.6	—			
		平均	8.8	8.8	—	—	57.4	56.7	—	—			
陸 前 高 田	標	平1	8.16	8.16	—	—	47.1	44.0	—	—	平1	品質やや良	ササニシキ並収量
	肥	平2	8.10	8.10	8.7	8.7	53.3	59.7	61.0	49.4	○△		
		平均	8.13	8.13	—	—	50.2	51.9	—	—	平2	登熟早、品質良	
		多	平1	8.16	8.17	—	8.13	46.0	38.6	—	36.6	平1	多収、品質やや良、登熟良
	肥	平2	8.13	8.13	8.9	8.8	47.4	42.5	51.7	49.3	○		
		平均	8.15	8.15	—	8.11	46.7	40.6	—	43.0	平2	熟期ササニシキより やや早、品質良	

6. 品質

1) 玄米品質 (標肥区)

品種名	年次	玄米		玄米品質								品質	
		千粒重	(g)	光沢	透明度	粒揃	粒張	乳白	腹白	奇形	青米		茶米
ひとめぼれ	昭63	21.8	3.5	3.5	1.0	1.5							中上
	平1	22.4	2.3	3.3	2.0	2.7	中少	微	微	微少	微		中上
	平2	22.6	1.7	2.0	2.0	2.0	無微	微	微	無微	微少		中上
	平均	22.3	2.5	2.9	1.7	2.1							
(比) ササニシキ	昭63	20.2	3.5	3.0	1.0	2.5							中上
	平1	21.5	2.3	3.3	2.0	3.7	中少	微	微	微少	無微		中中
	平2	20.9	2.7	1.0	2.7	3.0	微	微	微	微	微		無微中上
	平均	20.9	2.8	2.4	1.9	2.9							
(比) チヨホナミ	平1	-	-	-	-	-							-
	平2	22.0	2.0	2.0	2.7	2.0	微	無微	微		微	微	中上
	平均	-	-	-	-	-							-
(比) あきたこまち	昭63	20.2	2.0	2.0	3.5	4.0							中上
	平1	22.3	1.3	1.7	3.0	3.7	微		微	微	微		上下
	平2	21.4	1.0	2.0	3.0	3.0	微		微	微	微		上下
	平均	21.3	1.4	1.9	3.2	3.6							

注1) 県南分場, 昭和63年は奨決予備調査, 平成1, 2年は奨決本調査

注2) 玄米品質は〔1:良, 少ない→5:劣・多い〕の5段階評価

2) 玄米品質 (多肥区)

品種名	年次	玄米 千粒重 (g)	玄米品質										品質
			光沢	透明度	粒揃	粒張	乳白	腹白	奇形	青米	茶米	発芽	
ひとめぼれ	平1	22.4	3.0	3.0	2.3	2.7	中少	微	微	中少	微		中中
	平2	22.2	2.0	2.0	2.3	2.0	微		無微	無微	微少		中上
	平均	22.3	2.5	2.5	2.3	2.3							
(比) ササニシキ	平1	21.5	3.0	3.0	2.7	4.0	中少	微	微	中			中下
	平2	20.8	2.7	1.0	3.0	3.0	微	微	微	微	微	微	中中
	平均	21.2	2.8	2.0	2.8	3.5							
(比) チヨホナミ	平1	-	-	-	-	-							-
	平2	21.5	2.3	2.0	3.0	2.0	微	微	微	微	無微	微	中上
	平均	-	-	-	-	-							-
(比) あきたこまち	平1	22.0	1.7	1.3	3.3	3.7	微	微	微	微	微	無微	中上
	平2	21.0	1.0	2.0	2.7	2.0	微		微	微	微	無微	上下
	平均	21.5	1.3	1.6	3.0	2.8							

注1) 県南分場奨決本調査

注2) 玄米品質は〔1:良・少ない→5:劣・多い〕の5段階評価

3) 玄米品質 (宮城県古川農業試験場 (参考))

品種名	年次	標 肥							多 肥					
		玄米 千粒重 (g)	玄米品質					玄米 千粒重 (g)	玄米品質					
			腹白	心白	乳白	光沢	総合		腹白	心白	乳白	光沢	総合	
ひとめぼれ	昭62	21.4	2.0	2.3	1.5	2.8	2.5	22.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.5	
	昭63	21.5	2.0	1.0	1.3	2.5	2.5	21.8	2.0	1.0	1.5	2.3	2.3	
	平1	20.7	1.5	1.3	1.8	1.8	1.8	21.0	1.5	1.3	1.3	1.8	1.8	
	平均	21.2	1.8	1.5	1.5	1.5	2.4	21.6	1.8	1.4	1.4	2.0	2.2	
(比) ササニシキ	昭62	19.4	3.0	3.0	3.0	2.8	3.0	20.2	3.0	3.0	3.0	2.0	3.0	
	昭63	19.5	3.0	1.0	3.0	2.0	2.0	19.5	3.0	1.0	3.0	2.0	2.3	
	平1	19.0	2.0	1.5	2.5	2.5	3.0	18.9	2.5	1.5	3.0	2.8	3.0	
	平均	19.3	2.7	1.8	2.8	2.4	2.7	19.5	2.8	1.8	3.0	2.3	2.8	
(比) トヨニシキ	昭62	21.1	1.0	1.0	1.0	1.3	1.0	21.1	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	
	昭63	20.5	1.8	1.0	1.3	1.0	1.0	20.3	1.5	1.0	1.8	1.0	1.0	
	平1	20.7	1.3	1.0	1.5	1.3	1.3	20.4	1.3	1.3	1.8	1.3	1.5	
	平均	20.8	1.4	1.0	1.3	1.2	1.1	20.6	1.4	1.1	1.5	1.1	1.2	

注) 玄米品質は〔1:良・少ない→5:劣・多い〕の5段階評価

7. 搗精試験

1) 適搗精度の判定試験

品種名	水分 (%)	50秒搗精				60秒搗精			
		搗 精 歩 合	糠 残 存 程 度	胚 残 存 程 度	搗 精 程 度	搗 精 歩 合	糠 残 存 程 度	胚 残 存 程 度	搗 精 程 度
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
ひとめぼれ	15.2	91.6	3.5	3.8	否	91.3	4.4	3.9	可
ササニシキ	15.1	91.0	3.5	3.8	否	90.3	4.5	4.0	良
チヨホナミ	14.9	90.1	4.5	4.3	良	89.4	4.5	4.5	良
あきたこまち	15.0	91.0	4.5	2.3	否	90.6	4.5	4.0	良

1) 適搗精度の判定試験 (続き)

品種名	70秒搗精				80秒搗精			
	搗 精 歩 合	糠 残 存 程 度	胚 残 存 程 度	搗 精 程 度	搗 精 歩 合	搗 精 程 度	胚 残 存 程 度	搗 精 程 度
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
ひとめぼれ	90.8	4.8	4.2	良	90.4	4.9	4.3	良
ササニシキ	89.8	4.7	4.5	良	89.1	4.8	4.5	良
チヨホナミ	88.6	4.8	4.9	良	88.3	4.9	4.9	良
あきたこまち	90.0	4.7	4.2	良	89.6	4.9	4.5	良

注1) 平成2年、県南分場

注2) 奨決本試験標肥区の 1.9mm以上玄米・搗精の程度は、糠・胚の残存度を適搗精度判定基準で判定した

(付表) 適搗精度の判定基準 (Kett TP-2 型の精米について)

糠の残存度		胚の残存度	
〔4未満搗精不良、4以上可、4.5以上良〕		〔2以下搗精不良、2.5以上可、3以上良〕	
0	: 粒の全面に糠残存 (玄米)	0	: 全粒に胚が残る (玄米のみ)
1	: 粒の全面にまばらに糠残存	1	: 胚は大きなまま約50%の粒に残る
2	: 腹側の溝に線状に残り、ごくまれに粒の表面に糠の残る粒が見られる	2	: 僅かながら原型をとどめる大きな胚が残る
3	: 背側溝に線状に糠が残るが、腹側溝には見られない	2.5	: 原型をとどめる胚はほとんど見られない (摺り残し粒のみ)
4	: 背側溝全長のほぼ 1/2糠が残る	3	: 胚は痕跡だけとなるが残る粒多い (50%)
4.5	: 背側溝全長のほぼ 1/3糠が残る	4	: 少量ながら胚痕跡残る (10%)
5	: 背側溝にも糠は残らない	5	: 胚の残存は全く見られない

注) 残存度はMG染色による観察。搗精はKett TP-2 型を使用。昭和46年育種統一申し合わせによる

奨励品種編入に関する資料

2) 適搗精時間による搗精試験

施肥	品種名	玄米水分 (%)	搗精時間 (秒)	搗精歩合 (%)				胚残存 歩 合 (%)	白度
				1	2	3	平均		
標肥	ひとめぼれ	15.2	70	90.6	90.9	91.1	90.9	6.1	34.2
	ササニシキ	15.0	60	90.1	90.4	90.5	90.3	6.3	34.1
	チヨホナミ	14.9	50	89.8	90.3	90.3	90.1	1.0	35.3
	あきたこまち	15.1	60	90.4	90.7	90.8	90.6	6.7	35.5
多肥	ひとめぼれ	14.9	70	90.9	90.8	90.9	90.8	10.8	34.2
	ササニシキ	14.7	60	90.7	90.6	90.5	90.6	6.9	34.1
	チヨホナミ	15.1	50	90.0	90.0	90.0	90.0	2.7	35.8
	あきたこまち	15.2	60	91.0	90.7	90.8	90.8	5.6	35.4

注1) 平成2年、県南分場の奨励本試験の1.9mm以上玄米を供試

注2) 胚残存歩合はMGによる観察。搗精はKett TP-2型、白度はKett TP-3型を使用

8. 食味評価

1) 食味官能試験

品種名	食 味 評 価						試 験 年 月 日	試 験 参 加 者
	外観	香り	味	粘り	硬さ	総合		
ひとめぼれ	0.14	0.54	0.77*	0.87*	0.31	0.60*	昭64	分場職員
あきたこまち	0.46**	0.46*	0.54*	0.64**	0.46	0.87**	1.5	14名
ひとめぼれ	0.25	0.73	1.27*	1.08**	0.33	1.00**	平1	分場職員
							6.17	14名
ひとめぼれ	0.53	0.29	0.50	0.44	0.48	0.28	平1	分場職員
ササニシキ	-0.24	0.00	0.52	0.35	-0.06	0.28	11.24	18名
コガネヒカリ	0	0	0	0	0	0		
ひとめぼれ	0.82**	-0.09	0.83*	0.33	0.08	0.33	平1	分場職員
あきたこまち	-0.05	0.00	-0.08	0.42	0.25	-0.08	11.30	13名
ひとめぼれ	0.86*	0.38	0.56	0.00	0.94*	0.50	平2	分場職員
チヨホナミ	-0.06	-0.31	-0.50	-0.87*	-0.77	-0.12	11.19	19名
あきたこまち	0.13	-0.56	0.56	0.00	0.94	0.50		
ひとめぼれ	0.00	0.73*	0.47	0.13	0.75*	0.76*	平2	分場職員
チヨホナミ	0.60	0.19	0.56	0.31	-0.25	0.81*	11.26	21名
あきたこまち	0.53	0.19	0.12	1.00*	0.69	0.76**		
ひとめぼれ	1.19***	0.62*	1.29***	1.52***	0.19*	1.52**	平2	分場職員
ササニシキ	0.67*	0.10	0.35	0.19	0.52	0.25*	12.13	21名
あきたこまち	0	0	0	0	0	0		

注1) 基準品種は県南分場産「ササニシキ」、ただし平成1年11月24日は「コガネヒカリ」、平成2年12月13日は「あきたこまち」が基準品種

注2) \*, \*\*及び\*\*\*は、それぞれ5%、1%、0.1%の危険率で基準品種と有意差有り

2) 食味関連成分及びテクスチャー(粘弾性)分析

施 肥	品種名	搗精 歩合 (%)	精白米中乾物当り含量(%)		テクスチャー値(粘弾性)			
			粗蛋白	アミロース	硬さ (H)	付着性 (-H)	H/-H	備考
標 肥	ひとめぼれ	90.9	5.9	19.2	76.1	1.00	76.1	H/-H
	ササニシキ	90.3	5.9	19.2	83.9	0.84	99.9	(硬さ/付着性)
	チヨホナミ	90.1	5.7	18.9	86.3	0.71	121.5	
	あきたこまち	90.6	6.4	17.7	91.1	0.76	119.9	: 小さい値ほど
良食味								
多 肥	ひとめぼれ	90.8	6.1	19.3	80.6	0.85	94.8	
	ササニシキ	90.6	6.1	19.5	82.0	0.81	101.2	
	チヨホナミ	90.0	6.0	19.1	101.8	0.79	128.9	
	あきたこまち	90.8	6.7	17.3	86.5	0.83	104.2	

注1) 平成2年、県南分場奨励本調査の玄米を供試

注2) 粗蛋白含量はインフラライザー500, アミロース含量はオートアナライザーII型、テクスチャー(粘弾性)はレオロメーター(岩手農試本場)で分析、アミロース含量の標準は滋賀県産「日本晴」(18.1%)を使用

3) 奨励現地試験産米における食味関連成分分析

品種名	精白米中乾物当り含量(%)	
	アミロース	粗蛋白
ひとめぼれ	19.0	6.2
ササニシキ	20.0	6.1

注1) 平成2年奨励現地調査6か所の標肥区白米分析値の平均

注2) 粗蛋白含量はインフラライザー500, アミロース含量はオートアナライザーII型、標準は滋賀県産「日本晴れ」(18.1%)を使用

9. 特性検定試験

1) いもち病抵抗性

(1) 菌系別抵抗性 (宮城県古川農試調査)

品種名	年次	P2b	稲72	北1	稲68	稲168	長68	TH68	研60	推定抵抗性 遺伝子型
		(303)	(031)	(007)	(003)	(101)	-138	-182	-126	
ひとめぼれ		R	R	-	R	R	-	R	-	Pi-i
新 2 号	昭62	-	-	-	-	-	-	-	-	+
愛知旭		-	R	-	-	R	R	-	-	Pi-a
イナバワセ		R	R	-	R	R	-	R	-	Pi-i
ひとめぼれ		R	R	-	R	R	-	R	-	Pi-i
新 2 号	昭63	-	-	-	-	-	-	-	-	+
愛知旭		-	R	-	-	R	R	-	-	Pi-a
イナバワセ		R	R	-	R	R	-	R	-	Pi-i
ひとめぼれ		R	R	-	R	R	-	R	-	Pi-i
新 2 号	平1	-	-	-	-	-	-	-	-	+
愛知旭		-	R	-	-	R	R	-	-	Pi-a
イナバワセ		R	R	-	R	R	-	R	-	Pi-i

注) - : 罹病性反応, R : 抵抗性反応

(2) 葉いもち圃場抵抗性 (宮城県古川農試調査)

品種名	推定抵抗性 遺伝子型	昭61	昭62	昭63	平1	平均	総合判定
ひとめぼれ	Pi-i	5.4	5.7	6.5	6.8	6.1	中
トドロキワセ	Pi-i	4.9	2.9	4.9	5.2	4.5	(強)
ヨネシロ	Pi-i	-	3.0	-	-	-	(やや強)
藤坂5号	Pi-i	6.4	4.8	6.4	6.4	6.0	(中)
イナバワセ	Pi-i	6.9	5.0	7.2	7.2	6.6	(弱)
サチイズミ	Pi-i	-	-	4.8	-	-	強

注) 数値は発病程度、0 (無病斑) ~ 10 (全茎葉枯死)、3 反復で発病の初期、中期、後期の3回調査、判定 ( ) 内は基準品種

(3) 葉いもち圃場抵抗性 (岩手農試本場調査)

品種名	推定抵	平 1	平 2
	抗性遺 伝子型	病 斑 面積率 (%)	病 斑 面積率 (%)
ひとめぼれ	Pi-i	27	(参) 15
トドロキワセ	Pi-i	0.3	22
ヨネシロ	Pi-i	0.3	22
藤坂5号	Pi-i	4	30
イナバワセ	Pi-i	2.7	30
あさあけ	Pi-i	3.7	20
あきたこまち	Pi-a, i	1	20
たかねみのり	Pi-i	0.3	12
ササニシキ	Pi-a	97	33
チヨホナミ	Pi-a	90	20

注) 平成2年の「ひとめぼれ」は検定株数が少なかったため、参考値とする

(4) 他場所における葉いもち圃場抵抗性調査結果

品種名	推定抵 抗性遺 伝子型	福島相馬		愛知山間				総合判定	
		昭63	平 1	昭62	昭63	平 1	昭63		
		発病 程度	発病 程度	発病 程度	判定	発病 程度	判定	発病 程度	判定
ひとめぼれ	Pi-i	5.7	5.2	5.7	やや弱	8.5	弱	4.8	やや弱
トドロキワセ	Pi-i	4.6	4.6	5.5	やや弱	8.5	弱	4.0	中 (強)
ヨネシロ	Pi-i	4.2	4.0	3.8	中	7.5	弱	4.2	やや弱 (やや強)
藤坂5号	Pi-i	5.1	4.7	4.8	やや弱	8.3	弱	2.2	や強 (中)
イナバワセ	Pi-i	6.2	5.4	6.3	弱	9.0	弱	2.7	や強 (弱)
ミヨシ	Pi-i	4.8	4.1	-	-	8.5	弱	2.2	や強 中

注) 判定 ( ) 内は基準品種

(5) 穂いもち圃場抵抗性 (宮城県古川農試調査)

品種名	昭61		昭62		昭63		平 1		総合判定
	出穂期 (月日)	発病 程度	出穂期 (月日)	発病 程度	出穂期 (月日)	発病 程度	出穂期 (月日)	発病 程度	
ひとめぼれ	9.8	4	8.31	5	9.3	0	9.4	2.3	やや強
トドロキワセ	9.7	4	8.28	5	9.5	3.0	9.1	1.0	(強)
ヨネシロ	-	-	-	-	-	-	9.1	3.0	(強)
藤坂5号	-	-	-	-	8.27	8.8	8.28	6.0	(中)
イナバワセ	9.4	6	8.26	5	9.2	5.5	8.29	6.5	(弱)
ミヨシ	-	-	8.30	3	9.3	7.5	9.3	4.5	(中)

注) 判定 ( ) 内は基準品種



奨励品種編入に関する資料

(6) 穂いもち圃場抵抗性

品種名	推定抵抗性遺伝子型	平 1		平 2		判定
		出穂期 (月日)	発病 程度	出穂期 (月日)	発病 程度	
ひとめぼれ	Pi-i	8.20	1.5	8.11	4.0	中
あきたこまち	Pi-a, i	8.14	2.0	8.11	5.5	中
トドロキワセ	Pi-i	8.17	0	8.12	3.5	(強)
ミヨシ	Pi-i	8.18	0.5	8.15	7.0	(中)
あさあけ	Pi-i	8.18	2.0	8.15	7.3	(弱)
ササニシキ	Pi-a	8.20	8.5	8.15	9.0	(弱)
チヨホナミ	Pi-a	-	-	8.11	6.3	(中)
トヨニシキ	Pi-a	8.17	6.5	8.14	5.3	(強)
キヨニシキ	Pi-a	8.16	8.0	8.14	7.3	(中)

注1) 岩手県金ヶ崎町六原における発病程度、岩手農試本場調査、平成1年は2区平均、2年は4区平均  
 注2) 0:(無病斑)~9(全穂首罹病)判定( )内は基準品種

(7) 他場所における穂いもち圃場抵抗性調査結果

品種名	東北農試						大館分場		最北支場	
	昭62		昭63		平 1		昭63		平 1	
	出穂期 (月日)	発病 程度	出穂期 (月日)	発病 程度	出穂期 (月日)	発病 程度	出穂期 (月日)	発病 程度	出穂期 (月日)	発病 程度
ひとめぼれ	8.21	5.3	8.21	4.5	8.18	5.5	8.14	5.7	8.16	3.6
トドロキワセ	8.19	4.6	8.19	2.5	8.16	3.5	8.14	4.0	8.17	2.5
ヨネシロ	8.17	5.4	8.17	5.8	8.17	4.9	8.9	6.0	8.14	2.9
藤坂5号	8.14	7.4	8.14	8.0	8.10	7.5	8.8	8.4	8.9	4.6
イナバワセ	8.18	8.5	8.19	8.5	8.15	8.5	8.12	9.4	8.12	4.8
ミヨシ	8.20	6.6	8.20	6.8	8.21	7.8	8.15	7.1	8.16	5.9
あさあけ	-	-	-	-	8.22	7.5	-	-	-	-

(8) 他場所における穂いもち圃場抵抗性(続き)

品種名	相馬支場				愛知山間					
	昭63		平 1		昭62		判定	昭63		判定
	出穂期 (月日)	発病 程度	出穂期 (月日)	発病 程度	出穂期 (月日)	発病 程度		出穂期 (月日)	発病 程度	
ひとめぼれ	9.12	3.2	9.5	3.6	8.17	6.7	や弱	8.15	7.7	や弱
トドロキワセ	9.9	2.5	8.31	2.6	8.15	5.3	や強	8.15	7.7	や弱
ヨネシロ	9.3	3.1	9.1	3.0	8.14	5.3	や強	8.12	7.0	中
藤坂5号	8.31	2.8	8.28	5.8	8.11	8.7	弱	8.7	8.3	弱
イナバワセ	9.5	3.1	8.31	5.8	8.14	8.7	弱	8.12	8.7	弱
ミヨシ	9.6	3.1	9.1	3.7	8.20	9.0	弱	8.15	9.0	弱

(9) 他場所における穂いもち圃場抵抗性調査結果 (続き)

品種名	愛知山間			昭63			島根赤名			総合判定
	平1			昭63			平1			
	出穂期 (月日)	発病 程度	判定	出穂期 (月日)	発病 程度	判定	出穂期 (月日)	発病 程度	判定	
ひとめぼれ	8.16	6.3	中	8.26	5.6	弱	8.25	3.6	中	中～やや強
トドロキワセ	8.14	5.7	中	8.21	3.7	中	8.19	3.0	強	(強)
ヨネシロ	8.8	4.0	やや強	8.20	3.3	やや強	8.20	3.8	中	(強)
藤坂5号	8.6	7.0	やや弱	8.18	4.7	中	8.20	3.1	やや強	(中)
イナバワセ	8.11	8.7	弱	8.22	8.1	極弱	8.20	3.5	やや強	(弱)
ミヨシ	8.15	8.3	弱	8.25	5.8	弱	8.27	3.6	やや強	(中)

注) 発病程度 0 : (無病斑) ~10 (全穂首罹病)、判定 ( ) 内は基準品種

2) 白葉枯病抵抗性

(1) 白葉枯抵抗性 (宮城県古川農試調査)

品種名	発病程度		平均	判定
	平1			
	昭63	平1		
ひとめぼれ	4.7	4.8	4.8	やや弱
初星	5.0	6.5	5.8	弱
トヨニシキ	4.7	4.5	4.6	やや弱
ササミノリ	4.4	4.8	4.6	やや弱
ササニシキ	4.9	4.9	4.9	やや弱
コシヒカリ	3.2	4.3	3.8	

注) 止葉展開直後に剪葉接種、発病程度 : 0 (無病斑) ~10 (全止葉枯死)

(2) 白葉枯抵抗性 (山形農試庄内支場調査)

品種名	出穂期 (月日)	発病程度		判定
		剪葉 接種	針接種	
		(cm)	√mm	
ひとめぼれ	8.8	9.9	30	やや弱
キヨニシキ	8.4	9.8	32	弱
トヨニシキ	8.7	9.8	19	やや弱
中新120号	8.8	3.2	8	(強)
庄内8号	8.9	6.6	11	(やや強)
フジミノリ	7.28	7.4	15	(中)
ササニシキ	8.7	8.1	24	(やや弱)
ヒメノモチ	8.3	12.8	33	(弱)

注) 判定 ( ) 内は基準品種、8月3日第Ⅱ群菌を接種し、8月24日に調査、  
発病程度は剪葉接種では剪葉部分からの最大病斑進展長、針接種では罹病面積の√で示した。

奨励品種編入に関する資料

3) 耐冷性検定

(1) 耐冷性検定成績(宮城県古川農試調査)

品種名	昭61			昭61			昭61			昭61			総合判定
	出穂期 (月日)	不稔 程度	判定	出穂期 (月日)	不稔 程度	判定	出穂期 (月日)	不稔 程度	判定	出穂期 (月日)	不稔 程度	判定	
ひとめぼれ	8.25			8.19	3.5	< 2	8.26	2.7	< 2	9.1	2.3	< 2	< 2
ササニシキ							8.26	8.0	(6)	8.28	6.0	(6)	(6)
トヨニシキ	8.28	10	(6)	8.20	10.0	(6)	8.24	8.0	(6)	8.31	7.3	(6)	(6)
農林24号	8.27	3	1	8.18	3.0	1	8.27	3.0	1	9.1	2.0	1	1
トドロキワセ	8.26	3	(2)	8.19	4.5	(2)	8.24	3.7	(2)	8.30	3.3	(2)	(2)
オオトリ	8.27	5	(3)	8.19	4.0	(3)	8.25	5.3	(3)	8.30	3.3	(3)	(3)
コガネヒカリ	8.27	8	(4)	8.19	7.5	(4)	8.25	7.3	(4)	8.29	4.0	(4)	(4)
アキホマレ	8.27	9	(5)	8.20	9.0	(5)	8.25	8.0	(5)	8.30	6.3	(5)	(5)

注1) 冷水処理は7月初めから9月初めまで水深20cm、水温19℃の水を循環灌がい

注2) 不稔程度は、不稔歩合0%~100%までを1~10までのランクで示した。耐冷性の判定は、基準品種と比較、( )内数値は、基準品種の耐冷性ランク

(2) 耐冷性検定成績(岩手農試本場調査)

品種名	平1			平2		
	出穂期 (月日)	不稔 歩合 (%)	判定	出穂期 (月日)	不稔 歩合 (%)	判定
ひとめぼれ	8.25	26.8	極強	8.22	33.3	極強
トヨニシキ	8.27	90.3	(や弱)	8.20	87.1	(や弱)
ササニシキ	8.26	75.2	(や弱)	8.23	75.8	中
チヨホナミ	8.24	46.7	(や強)	8.20	76.6	中
あきたこまち	8.17	35.3	(や強)	8.17	69.6	(や強)
トドロキワセ	8.23	28.4	(極強)	8.25	40.3	(極強)
コガネヒカリ	8.24	58.7	(や強)	8.21	80.4	中

注) 冷水処理は恒温深水法、水深20cm、19℃に設定し、7月上旬~9月上旬まで掛け流し、( )内は基準品種

概評: 「ひとめぼれ」の耐冷性は「ササニシキ」、「チヨホナミ」、「あきたこまち」よりはるかに強く、トドロキワセ並~以上の極強である。

(3) 耐冷性検定成績(福島農試冷害試験地調査)

品種名	昭62				昭63				平1				総合判定			
	出穂期 (月日)		不稔歩合 (%)		出穂期 (月日)		不稔歩合 (%)		出穂期 (月日)		不稔歩合 (%)					
	標準	冷水	標準	冷水	標準	冷水	標準	冷水	標準	冷水	標準	冷水				
ひとめぼれ	8.16	8.20	9.1	40.1	1	8.23	8.29	5.9	22.5	1	8.23	9.2	5.9	36.4	3	2
トヨニシキ	8.15	8.21	9.0	91.9	4	8.23	8.29	3.0	73.5	4	8.21	8.30	3.5	62.3	3	(6)
トドロキワセ	8.16	8.18	5.1	52.9	1	8.23	8.27	3.4	14.3	1	8.22	8.29	4.9	34.0	2	(2)
コガネヒカリ	8.15	8.19	8.2	89.1	3	8.23	8.28	3.7	57.5	3	8.22	8.29	3.3	52.9	3	(4)
アキホマレ	8.16	8.20	12.1	76.4	3	8.24	8.28	6.2	60.9	3	8.24	9.1	5.6	63.9	3	(5)
オオトリ	8.15	8.20	3.6	61.7	2	8.23	8.29	7.5	25.0	1	8.23	8.31	5.8	38.9	3	(3)

注) 判定は、1(強)~5(弱)のランクとし、コガネヒカリを3(中)として表示した。総合判定は基準品種による。( )内の数値は基準品種の数値

(4) 耐冷性検定成績 (青森農試藤坂支場調査)

品種名	昭63			平1			平1 連絡試験			総合 判定
	出穂期	不稔 歩合	判定	出穂期	不稔 歩合	判定	出穂期	不稔 歩合	判定	
	(月日)	(%)		(月日)	(%)		(月日)	(%)		
ひとめぼれ	9. 3	26.5	1	8.27	24.2	2	8.29	27.3	2	<2
トヨニシキ	8.30	82.9	6	8.27	72.6	6	8.29	92.4	7	6
トドロキワセ	9. 3	23.1	2	8.24	24.5	2	8.26	25.6	2	2
コガネヒカリ	8.29	71.3	5	8.25	39.6	3	8.25	35.2	3	5
アキホマレ	8.31	71.9	5	8.25	51.1	4				4
オオトリ	9. 2	46.7	3	8.26	40.2	3	8.25	31.1	2	3

4) 穂発芽性検定

(1) 穂発芽性検定成績 (県南分場調査)

品種名	発芽初率 (%)		判 定
	3日目	6日目	
ひとめぼれ	0.2	33.7	難
ササニシキ	18.1	79.7	(やや易)
トドロキワセ	2.0	74.3	(難)
キヨニシキ	56.6	90.0	(易)
トヨニシキ	21.8	79.1	(やや易)
ササミノリ	4.7	79.3	(中)

注) 成熟期の穂を冷蔵後、1日浸水し、32°Cで加温、発芽させた  
発芽初数を測定、判定の ( ) 内は基準品種

(2) 穂発芽性検定成績 (宮城県古川農試調査)

品種名	発芽程度 (0~5)			判 定
	昭62	昭63	平1	
ひとめぼれ	2.0	3.0	0.3	難
コガネヒカリ	4.0	4.5	2.3	中
ササニシキ	4.5	4.5	3.5	(やや易)
トドロキワセ	0.5	3.0	1.5	(難)
キヨニシキ	5.0	4.5	3.5	(易)
トヨニシキ	4.5	4.5	4.3	(やや易)
ササミノリ	4.0	4.5	0.5	(中)
イナバワセ			2.0	(極難)

注) 成熟期の穂を冷蔵後浸水し25~30°Cで発芽させた、発芽程度は0 (無) ~ 5 (多) で示した  
判定 ( ) 内は基準品種

10. 栽培特性

1) 試験区の構成

試験区番号		基肥	追肥		刈取時期(月.日)			
ひとめぼれ	ササニシキ		幼形期	減分期	9.4	9.12	9.19	10.1
1	10		-	0.2			○	
2	11	0.3	0.2	-	○	○	○	○
3	-			0.2			○	○
4	-		-	-			○	
5	12	0.5		0.2	○	○	○	△
6	13		0.2	-	○	○	○	△
7	-			0.2			○	○
8	14	0.7	-	-	○	○	○	○
9	-			0.2			○	

注) 基肥・追肥: 窒素施肥量(成分: Kg/a, 追肥はNKC-17号(17-0-17)施用)

幼穂形成期追肥: 7月16日, 減数分裂期追肥: 7月27日

○: ひとめぼれ ・ササニシキ刈取, △: ササニシキのみ刈取

2) 耕種概要

- (1) 供試苗: 稚苗, 播種期(4月7日), 播種量 乾籾 180g/箱
- (2) 移植期: 5月9日, 機械移植
- (3) 栽植密度: 19.4株/m<sup>2</sup>, 3~5本植/株
- (4) 本田基肥量: P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 1.0, K<sub>2</sub>O 1.0 (成分kg/a)

3) 調査結果

(1) 苗調査

品種名	草丈 (cm)	葉齢 (葉)	葉鞘長 (cm)		葉身長 (cm)	
			第1	第2	第1	第2
ひとめぼれ	10.3	2.1	3.2	4.0	2.2	6.3
ササニシキ	10.3	2.4	2.9	4.7	1.9	5.5

(2) 生育調査

区番	草丈 (cm)							茎数 (本/m <sup>2</sup> )							葉齢 (葉)						
	6.5	6.15	6.25	7.5	7.16	7.27	7.5	6.5	6.15	6.25	7.5	7.16	7.27	6.5	6.15	6.25	7.5	7.16	最終		
1	-	-	-	-	-	69.8	-	-	-	-	-	-	547	-	-	-	-	-	-		
2	23.2	32.2	48.0	57.1	61.4	71.4	93	221	514	683	669	636	563	6.2	8.1	9.4	10.1	10.9	12.6		
3	-	-	-	-	-	74.1	-	-	-	-	-	-	613	-	-	-	-	-	-		
6	25.0	35.0	49.7	58.2	63.4	72.8	80	275	594	731	712	650	568	6.6	8.3	9.7	10.3	11.2	12.7		
8	25.1	35.9	52.8	61.5	66.8	73.2	80	266	609	762	749	693	603	6.8	8.5	9.8	10.4	11.3	12.8		

(3) 土壤窒素濃度の推移 (mg/乾土 100g)

区名	調査月日 (月・日)					
	6.5	6.15	6.25	7.5	7.16	
基肥窒素	0.3	4.57	2.08	0.29	0.62	0.10
基肥窒素	0.5	6.07	3.64	0.40	0.30	0.30
基肥窒素	0.7	6.59	3.57	0.94	1.30	-

(4) 葉色

区番	葉色値 (SPAD)
1, 2, 3	32
4, 5, 6, 7	33
8, 9	33

注) 調査日: 7月18日

(5) 地上部乾物重の推移 (g/m<sup>3</sup>)

品種	区番	施肥量 (Kg/a) 基-幼-減	調査月日 (月・日)								
			6.25	7.3	7.16	7.27	8.10	9.4	9.12	9.19	10.1
	1	0.3-0.0-0.2	184	255	443	585	851	-	-	1429	-
	2	0.3-0.2-0.0	184	255	443	630	941	1466	1413	1532	1491
	3	0.3-0.2-0.2	184	255	443	630	1047	-	-	1447	1591
ひとめぼれ	4	0.5-0.0-0.0	223	306	528	732	994	-	-	1546	-
	5	0.5-0.0-0.2	223	306	528	732	1060	1498	1427	1721	-
	6	0.5-0.2-0.0	223	306	528	756	1070	1556	1639	1677	-
	7	0.5-0.2-0.2	223	306	528	756	1187	-	-	1774	-
	8	0.7-0.0-0.0	246	311	549	793	1130	1427	1561	1718	1877
	9	0.7-0.0-0.2	246	311	549	793	1156	-	-	1650	1707
	10	0.3-0.0-0.2	-	-	-	-	840	-	-	1427	-
	11	0.3-0.2-0.0	-	-	-	-	884	1374	1526	1519	1533
ササニシキ	12	0.5-0.0-0.2	-	-	-	-	990	1458	1625	1564	1490
	13	0.5-0.2-0.0	-	-	-	-	1062	1535	1590	1638	1534
	14	0.7-0.0-0.0	-	-	-	-	1126	1556	1576	1684	1552

注) 基: 基肥, 幼: 幼穂形成期追肥, 減: 減数分裂期追肥, 施肥量の数値は窒素施用量

(6) 稲体窒素濃度の推移 (N%) (その1)

品種	区番	施肥量 (Kg/a)	調査月日 (月・日)					
			6.25	7.3	7.16	7.27	8.10	
			茎葉	茎葉	茎葉	茎葉	茎葉	穂
		基-幼-減						
	1	0.3-0.0-0.2	2.75	1.98	1.22	1.15	0.87	0.98
	2	0.3-0.2-0.0	2.75	1.98	1.22	1.32	0.85	1.00
	3	0.3-0.2-0.2	2.75	1.98	1.22	1.32	0.83	1.00
ひとめぼれ	4	0.5-0.0-0.0	2.50	0.76	1.20	1.17	0.74	0.91
	5	0.5-0.0-0.2	2.50	0.76	1.20	1.17	0.83	0.96
	6	0.5-0.2-0.0	2.50	0.76	1.20	1.09	0.85	0.93
	7	0.5-0.2-0.2	2.50	0.76	1.20	1.09	0.93	1.09
	8	0.7-0.0-0.0	3.06	2.04	1.30	1.15	0.78	0.96
	9	0.7-0.0-0.2	3.06	2.04	1.30	1.15	0.93	0.96
	10	0.3-0.0-0.2	—	—	—	—	0.74	0.91
	11	0.3-0.2-0.0	—	—	—	—	0.76	0.93
ササニシキ	12	0.5-0.0-0.2	—	—	—	—	0.72	1.02
	13	0.5-0.2-0.0	—	—	—	—	0.83	0.98
	14	0.7-0.0-0.0	—	—	—	—	0.83	1.00

(7) 稲体窒素濃度の推移 (N%) (その2)

品種	区番	施肥量 (Kg/a)	調査月日 (月・日)							
			9.4		9.12		9.19		10.1	
			茎葉	穂	茎葉	穂	茎葉	穂	茎葉	穂
		基-幼-減								
	1	0.3-0.0-0.2	—	—	—	—	0.54	0.87	—	—
	2	0.3-0.2-0.0	0.54	0.89	0.46	0.89	0.48	0.87	0.48	0.89
	3	0.3-0.2-0.2	—	—	—	—	0.52	0.87	0.50	0.91
ひとめぼれ	4	0.5-0.0-0.0	—	—	—	—	0.47	0.87	—	—
	5	0.5-0.0-0.2	0.50	0.85	0.41	0.89	0.50	0.87	—	—
	6	0.5-0.2-0.0	0.52	0.87	0.43	0.87	0.48	0.87	—	—
	7	0.5-0.2-0.2	—	—	—	—	0.59	0.96	—	—
	8	0.7-0.0-0.0	0.46	0.89	0.43	0.87	0.52	0.78	0.45	0.86
	9	0.7-0.0-0.2	—	—	—	—	0.52	0.87	0.50	0.90
	10	0.3-0.0-0.2	—	—	—	—	0.41	0.80	—	—
	11	0.3-0.2-0.0	0.39	0.93	0.41	0.96	0.43	0.89	0.43	0.85
ササニシキ	12	0.5-0.0-0.2	0.48	0.96	0.44	0.98	0.46	0.87	0.48	0.85
	13	0.5-0.2-0.0	0.43	0.96	0.41	0.93	0.46	0.87	0.50	0.89
	14	0.7-0.0-0.0	0.52	0.98	0.46	0.85	0.50	0.96	0.46	0.93

(8) 窒素吸収の推移 (g/m<sup>2</sup>)

品種	区番	施肥量 (Kg/a) 基-幼-減	調査月日 (月・日)								
			6.25	7.3	7.16	7.27	8.10	9.4	9.12	9.19	10.1
ひとめぼれ	1	0.3-0.0-0.2	5.06	5.05	5.40	6.73	7.5	-	-	9.9	-
	2	0.3-0.2-0.0	5.06	5.05	5.40	8.32	8.2	10.5	9.6	10.2	10.1
	3	0.3-0.2-0.2	5.06	5.05	5.40	8.32	9.0	-	-	10.1	11.1
	4	0.5-0.0-0.0	5.58	5.39	6.34	8.56	7.6	-	-	10.2	-
	5	0.5-0.0-0.2	5.58	5.39	6.34	8.56	9.0	10.1	9.4	11.6	-
	6	0.5-0.2-0.0	5.58	5.39	6.34	8.24	9.2	10.9	10.6	11.4	-
	7	0.5-0.2-0.2	5.58	5.39	6.34	8.24	11.4	-	-	13.8	-
	8	0.7-0.0-0.0	6.82	6.34	7.14	9.12	9.1	9.6	10.0	11.0	12.0
	9	0.7-0.0-0.2	6.82	6.34	7.14	9.12	10.8	-	-	11.8	11.7
ササニシキ	10	0.3-0.0-0.2	-	-	-	-	6.6	-	-	8.8	-
	11	0.3-0.2-0.0	-	-	-	-	7.0	9.2	10.8	10.3	10.1
	12	0.5-0.0-0.2	-	-	-	-	7.5	10.7	11.9	10.6	10.1
	13	0.5-0.2-0.0	-	-	-	-	9.2	10.8	11.0	11.2	11.0
	14	0.7-0.0-0.0	-	-	-	-	9.6	11.8	10.6	12.4	11.1

4) 生育ステージ・成熟期調査

品種	区番	施肥量 (Kg/a) 基-幼-減	幼穂	減数	出穂期	稈長	穂長	穂数	倒伏
			形成期	分裂期	月・日	cm	cm	本/m <sup>2</sup> (0~5)	程度
ひとめぼれ	1	0.3-0.0-0.2	7.14	7.26	8.6	75.5	17.2	450	0
	2	0.3-0.2-0.0	7.14	7.26	8.6	77.9	18.1	473	0
	3	0.3-0.2-0.2	7.14	7.26	8.5	77.9	18.1	489	0
	4	0.5-0.0-0.0	7.14	7.26	8.5	79.2	17.2	493	0
	5	0.5-0.0-0.2	7.14	7.26	8.5	79.8	17.1	530	0
	6	0.5-0.2-0.0	7.14	7.26	8.5	80.6	18.9	512	0
	7	0.5-0.2-0.2	7.14	7.26	8.5	82.1	17.8	611	0
	8	0.7-0.0-0.0	7.14	7.26	8.5	78.1	17.4	473	0
	9	0.7-0.0-0.2	7.14	7.26	8.5	80.2	17.1	590	0
ササニシキ	10	0.3-0.0-0.2	7.14	7.26	8.5	76.7	16.5	491	0.5 ~1.0
	11	0.3-0.2-0.0	7.14	7.26	8.5	80.0	18.2	502	3.5 ~4.0
	12	0.5-0.0-0.2	7.14	7.26	8.4	75.6	16.8	489	4.5 以上
	13	0.5-0.2-0.0	7.14	7.26	8.4	81.6	18.2	557	4.5 以上
	14	0.7-0.0-0.0	7.14	7.26	8.4	81.9	16.8	594	4.5 以上



5) 収量調査

(1) 出穂後から刈取日(月・日)までの気象値

区番	平均気温積算値(°C)				日照時間積算値(hr)			
	9.4	9.12	9.19	10.1	9.4	9.12	9.19	10.1
1~2	720	888	1042	1259	161	179	194	247
3~11	747	916	1070	1287	170	188	204	256
12~14	755	943	1097	1314	179	197	213	266

(2) 収量調査結果

品種	区番	施肥量(Kg/a) 基-幼-減	9月4日					9月12日				
			葉重	精粳重	精玄米重	屑米重	粳摺歩合	葉重	精粳重	精玄米重	屑米重	粳摺歩合
			Kg/a	Kg/a	Kg/a	Kg/a	%	Kg/a	Kg/a	Kg/a	Kg/a	%
	1	0.3-0.0-0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	0.3-0.2-0.0	72.8	73.8	55.5	3.1	75.2	69.5	71.8	57.9	0.7	80.6
	3	0.3-0.2-0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	0.5-0.0-0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ひとめぼれ	5	0.5-0.0-0.2	74.4	75.4	59.1	1.6	78.3	67.9	74.8	60.1	1.0	80.3
	6	0.5-0.2-0.0	74.4	81.2	62.4	2.8	76.9	82.5	81.4	65.0	0.7	79.9
	7	0.5-0.2-0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	0.7-0.0-0.0	71.1	71.6	57.3	1.0	80.1	80.6	75.5	61.3	0.4	81.2
	9	0.7-0.0-0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	0.3-0.0-0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	0.3-0.2-0.0	66.3	71.1	53.3	2.6	75.0	69.5	83.1	65.3	1.8	78.6
ササニシキ	12	0.5-0.0-0.2	67.9	77.9	60.2	2.2	77.3	74.4	88.1	68.1	2.7	77.2
	13	0.5-0.2-0.0	74.4	79.1	60.6	2.5	76.6	72.8	86.2	66.9	2.9	77.6
	14	0.7-0.0-0.0	74.4	81.2	61.3	3.3	75.5	72.8	84.8	67.4	1.8	79.4

注) 精玄米調整ふるい目: 1.70mm

(2) 収量調査結果 (続き)

品種	区番	施肥量 (Kg/a) 基-幼-減	9月19日					10月1日				
			藁重	精粳	精玄	屑米	粳摺	藁重	精粳	精玄	屑米	粳摺
			Kg/a	Kg/a	Kg/a	Kg/a	%	Kg/a	Kg/a	Kg/a	Kg/a	%
	1	0.3-0.0-0.2	76.0	66.9	53.5	0.9	80.0	-	-	-	-	-
	2	0.3-0.2-0.0	81.1	72.1	57.4	0.9	79.6	77.6	71.5	57.3	0.6	80.2
	3	0.3-0.2-0.2	70.1	74.6	60.8	0.5	81.4	82.5	76.6	62.2	0.4	81.2
	4	0.5-0.0-0.0	82.5	72.1	57.4	0.4	79.5	-	-	-	-	-
ひとめぼれ	5	0.5-0.0-0.2	90.5	81.6	65.6	0.5	80.5	-	-	-	-	-
	6	0.5-0.2-0.0	82.5	85.2	69.2	0.5	81.3	-	-	-	-	-
	7	0.5-0.2-0.2	87.3	90.1	72.5	0.9	80.5	100.2	87.5	71.2	0.5	81.4
	8	0.7-0.0-0.0	93.8	78.0	62.2	0.8	79.8	91.2	79.5	64.2	0.5	80.8
	9	0.7-0.0-0.2	88.9	82.1	66.3	0.7	80.7	-	-	-	-	-
	10	0.3-0.0-0.2	67.9	74.8	59.7	1.0	79.8	-	-	-	-	-
	11	0.3-0.2-0.0	69.5	82.4	67.0	2.8	81.4	69.5	83.8	66.4	1.6	79.2
ササニシキ	12	0.5-0.0-0.2	74.4	82.0	65.9	1.1	80.4	69.5	79.5	64.0	0.8	80.5
	13	0.5-0.2-0.0	75.8	88.3	68.0	3.0	77.1	67.2	86.2	67.9	2.0	78.8
	14	0.7-0.0-0.0	82.5	85.9	66.2	1.2	77.1	71.6	83.6	65.3	2.5	78.2

注) 精玄米調整ふるい目: 1.70mm

(3) 精玄米重 (ふるい目: 1.70mm, Kg/a)

区番	施肥量 (Kg/a) 基-幼-減	ひとめぼれ刈取日 (月・日)				ササニシキ刈取日 (月・日)			
		9.4	9.12	9.19	10.1	9.4	9.12	9.19	10.1
1	10 0.3-0.0-0.2	-	-	53.5	-	-	59.7	-	
2	11 0.3-0.2-0.0	55.5	57.9	57.4	57.3	53.3	65.3	67.0	66.4
3	- 0.3-0.2-0.2	-	-	60.8	62.2	-	-	-	-
4	- 0.5-0.0-0.0	-	-	57.4	-	-	-	-	-
5	12 0.5-0.0-0.2	59.1	60.1	65.6	-	60.2	68.1	65.9	64.0
6	13 0.5-0.2-0.0	62.4	65.0	69.2	-	60.6	66.9	68.0	67.9
7	- 0.5-0.2-0.2	-	-	72.5	71.2	-	-	-	-
8	14 0.7-0.0-0.0	57.3	61.3	62.2	64.2	61.3	67.4	66.2	65.3
9	- 0.7-0.0-0.2	-	-	66.3	-	-	-	-	-

(4) 精玄米重 (ふるい目 : 1.85mm, Kg/a)

区番	施肥量 (Kg/a) 基-幼-減	ひとめぼれ刈取日 (月・日)				ササニシキ刈取日 (月・日)			
		9.4	9.12	9.19	10.1	9.4	9.12	9.19	10.1
1	10 0.3-0.0-0.2	-	-	52.5	-	-	-	58.0	-
2	11 0.3-0.2-0.0	51.9	56.9	55.8	56.2	49.1	62.4	64.5	63.8
3	- 0.3-0.2-0.2	-	-	59.8	60.6	-	-	-	-
4	- 0.5-0.0-0.0	-	-	56.2	-	-	-	-	-
5	12 0.5-0.0-0.2	57.1	58.7	64.7	-	57.2	65.2	63.5	61.8
6	13 0.5-0.2-0.0	59.3	63.4	67.7	-	56.8	64.0	64.5	64.8
7	- 0.5-0.2-0.2	-	-	71.2	70.1	-	-	-	-
8	14 0.7-0.0-0.0	55.5	60.2	61.0	62.7	56.9	63.8	62.8	61.6
9	- 0.7-0.0-0.2	-	-	64.8	-	-	-	-	-

(5) 精玄米重 (ふるい目 : 1.90mm, Kg/a)

区番	施肥量 (Kg/a) 基-幼-減	ひとめぼれ刈取日 (月・日)				ササニシキ刈取日 (月・日)			
		9.4	9.12	9.19	10.1	9.4	9.12	9.19	10.1
1	10 0.3-0.0-0.2	-	-	52.0	-	-	-	56.7	-
2	11 0.3-0.2-0.0	50.2	56.2	55.2	55.5	47.5	61.0	62.8	62.1
3	- 0.3-0.2-0.2	-	-	59.1	60.0	-	-	-	-
4	- 0.5-0.0-0.0	-	-	55.5	-	-	-	-	-
5	12 0.5-0.0-0.2	56.1	58.0	64.1	-	55.3	63.6	62.0	60.4
6	13 0.5-0.2-0.0	58.2	62.3	66.6	-	54.8	62.5	62.8	62.9
7	- 0.5-0.2-0.2	-	-	70.3	69.4	-	-	-	-
8	14 0.7-0.0-0.0	54.5	59.5	60.2	62.1	55.2	62.1	61.0	59.4
9	- 0.7-0.0-0.2	-	-	63.8	-	-	-	-	-

6) 収量構成要素

(1) 玄米千粒重 (ふるい目 : 1.70mm, g)

区番	施肥量 (Kg/a) 基-幼-減	ひとめぼれ刈取日 (月・日)				ササニシキ刈取日 (月・日)			
		9.4	9.12	9.19	10.1	9.4	9.12	9.19	10.1
1	10 0.3-0.0-0.2	-	-	22.5	-	-	-	20.6	-
2	11 0.3-0.2-0.0	21.4	22.1	21.9	22.1	20.1	20.6	20.6	20.6
3	- 0.3-0.2-0.2	-	-	22.1	22.5	-	-	-	-
4	- 0.5-0.0-0.0	-	-	21.5	-	-	-	-	-
5	12 0.5-0.0-0.2	21.3	21.3	21.8	-	20.3	20.0	20.5	20.5
6	13 0.5-0.2-0.0	21.4	21.8	21.7	-	20.1	20.5	20.4	20.5
7	- 0.5-0.2-0.2	-	-	21.4	21.9	-	-	-	-
8	14 0.7-0.0-0.0	21.1	22.0	21.5	21.7	19.6	20.6	19.9	19.9
9	- 0.7-0.0-0.2	-	-	21.3	-	-	-	-	-

(2) 分析調査結果 (9月19日刈取)

品種	区番	施肥量 (Kg/a) 基-幼-減	枝梗数 (本)			㎡籾数 (千粒)			一穂籾数 (粒)			登熟歩合 (%)		
			1次	2次	2/1	1次	2次	計	1次	2次	計	1次	2次	全体
	1	0.3-0.0-0.2	7.4	6.0	0.81	18.1	7.2	25.3	40.2	16.1	56.3	94.8	89.7	93.4
	2	0.3-0.2-0.0	7.4	6.6	0.89	19.3	9.3	28.8	40.8	20.0	60.8	93.0	88.8	91.7
	3	0.3-0.2-0.2	7.9	7.8	0.99	21.6	8.7	30.3	44.2	17.8	62.0	93.3	87.1	91.5
	4	0.5-0.0-0.0	7.0	5.6	0.80	19.9	8.3	28.2	40.3	16.9	57.2	93.7	89.9	92.6
ひとめぼれ	5	0.5-0.0-0.2	7.3	6.7	0.92	21.7	9.4	31.0	40.9	17.7	58.6	94.5	94.1	94.4
	6	0.5-0.2-0.0	7.5	7.0	0.93	24.2	11.0	35.2	47.2	21.5	68.7	93.4	86.5	91.2
	7	0.5-0.2-0.2	8.3	7.8	0.94	27.3	10.1	37.4	44.7	16.5	61.2	95.3	79.9	91.5
	8	0.7-0.0-0.0	7.4	5.6	0.76	22.2	8.2	30.4	47.0	17.2	64.2	94.1	91.8	93.5
	9	0.7-0.0-0.2	8.2	6.0	0.73	24.3	9.6	33.9	41.2	16.2	57.4	93.6	89.7	92.7
	10	0.3-0.0-0.2	7.6	9.7	1.28	19.6	13.7	33.3	40.0	27.8	67.8	94.5	81.2	89.0
	11	0.3-0.2-0.0	8.0	11.0	1.38	21.9	15.9	37.8	43.6	31.6	75.2	93.7	73.3	85.1
ササニシキ	12	0.5-0.0-0.2	7.8	10.8	1.38	23.2	16.2	39.4	47.4	33.3	80.7	90.7	70.5	82.4
	13	0.5-0.2-0.0	8.1	11.4	1.41	25.5	19.3	44.8	45.8	34.7	80.5	86.2	55.9	73.1
	14	0.7-0.0-0.0	7.7	9.8	1.27	27.5	18.2	45.7	46.3	30.7	77.0	84.7	52.2	71.6

(3) 登熟歩合 (%)

区番	施肥量 (Kg/a) 基-幼-減	ひとめぼれ刈取日 (月・日)				ササニシキ刈取日 (月・日)			
		9.4	9.12	9.19	10.1	9.4	9.12	9.19	10.1
1	10 0.3-0.0-0.2	-	-	93.4	-	-	-	89.1	-
2	11 0.3-0.2-0.0	84.2	88.7	91.7	93.8	69.7	80.2	85.1	83.9
3	- 0.3-0.2-0.2	-	-	91.5	94.7	-	-	-	-
4	- 0.5-0.0-0.0	-	-	92.6	-	-	-	-	-
5	12 0.5-0.0-0.2	90.5	90.6	94.4	-	72.3	74.1	82.4	92.1
6	13 0.5-0.2-0.0	83.0	93.4	91.2	-	64.7	72.5	73.1	81.1
7	- 0.5-0.2-0.2	-	-	91.5	94.5	-	-	-	-
8	14 0.7-0.0-0.0	90.5	90.6	93.5	91.8	66.3	73.5	71.6	80.7
9	- 0.7-0.0-0.2	-	-	92.7	-	-	-	-	-

奨励品種編入に関する資料

7) 玄米の粒厚別割合 (精玄米1.70mm, 重量%)

品	区	施肥量	刈取日	2.2mm	2.1	2.0	1.9	1.8	1.8mm		
種	番	基-幼-減	月. 日	以上	2.2	2.1	2.0	1.9	未満		
ひ と め ぼ れ	1	0.3-0.0-0.2	9.19	15.0	35.2	36.6	10.3	2.1	0.8		
			9.4	14.8	30.2	31.4	14.0	6.4	3.2		
			9.12	21.1	36.4	29.4	9.7	2.4	0.8		
	2	0.3-0.2-0.0	9.19	18.6	32.9	32.8	12.0	2.8	0.9		
			10.1	18.0	32.9	33.1	12.6	2.6	0.8		
			9.19	18.1	32.7	35.1	11.3	2.2	0.6		
	3	0.3-0.2-0.2	10.1	20.5	36.7	29.6	10.5	2.1	0.6		
			4	0.5-0.0-0.0	9.19	15.2	34.7	34.1	12.4	2.9	0.7
					9.4	16.9	36.0	31.3	10.0	3.8	2.0
	9.12	18.6			37.6	32.0	8.8	2.3	0.7		
	5	0.5-0.0-0.2	9.19	19.5	38.0	30.6	9.6	1.8	0.5		
			9.4	15.9	37.6	28.9	10.7	4.3	2.6		
6			0.5-0.2-0.0	9.12	13.8	32.7	35.9	13.9	2.9	0.8	
	9.19	17.1		36.0	32.1	11.6	2.5	0.7			
	7	0.5-0.2-0.2		9.19	13.6	33.9	37.7	11.6	2.4	0.8	
10.1			17.0	36.2	33.7	10.4	2.2	0.5			
9.4			19.2	37.0	31.3	7.8	3.2	1.5			
8	0.7-0.0-0.0	9.12	19.1	38.1	30.2	8.8	2.7	1.1			
		9.19	15.8	34.6	34.3	11.5	3.0	0.8			
		10.1	21.6	37.7	29.1	9.3	1.8	0.5			
9	0.7-0.0-0.2	9.19	13.0	34.6	35.2	13.5	2.9	0.8			
		10	0.3-0.0-0.2	9.19	4.0	22.9	46.0	22.2	3.8	1.1	
				9.4	2.5	20.2	44.0	23.2	6.5	3.6	
9.12	3.0			20.9	47.5	23.1	4.2	1.3			
サ	0.3-0.2-0.0	9.19	4.1	21.8	44.2	23.5	4.9	1.5			
		10.1	3.7	22.6	45.3	22.0	4.8	1.6			
		9.4	3.0	22.8	44.8	21.0	5.8	2.6			
ニ	0.5-0.0-0.2	9.12	2.0	20.3	47.9	22.4	4.9	2.5			
		9.19	3.5	23.3	48.1	19.8	4.1	1.2			
		10.1	3.7	24.1	46.1	20.5	4.5	1.1			
シ	0.5-0.2-0.0	9.4	2.3	21.3	46.5	20.6	6.3	3.0			
		13	0.5-0.2-0.0	9.12	2.5	20.9	48.5	21.5	4.8	1.8	
				9.19	2.2	22.2	47.8	20.8	5.0	2.0	
10.1	3.5			23.4	45.1	21.2	5.3	1.5			
キ	0.7-0.0-0.0	9.4	2.6	17.7	42.9	25.6	7.7	3.5			
		9.12	2.7	18.7	46.6	25.1	5.0	1.9			
		9.19	2.0	16.7	43.4	28.7	6.4	2.8			
14	0.7-0.0-0.0	10.1	1.9	15.5	44.1	29.5	6.8	2.2			

8) 白米の成分分析結果

(1) 粗蛋白含量(%, 玄米ふるい目1.90mm)

区番	施肥量 (Kg/a) 基-幼-減	ひとめぼれ刈取日 (月・日)				ササニシキ刈取日 (月・日)			
		9.4	9.12	9.19	10.1	9.4	9.12	9.19	10.1
1	10 0.3-0.0-0.2	-	-	6.0	-	-	-	5.4	-
2	11 0.3-0.2-0.0	5.7	5.5	5.6	5.7	5.7	5.6	5.6	5.7
3	- 0.3-0.2-0.2	-	-	5.8	6.0	-	-	-	-
4	- 0.5-0.0-0.0	-	-	5.7	-	-	-	-	-
5	12 0.5-0.0-0.2	5.5	5.9	5.7	-	5.7	5.9	5.7	5.7
6	13 0.5-0.2-0.0	5.8	5.7	5.9	-	5.9	6.2	5.9	6.0
7	- 0.5-0.2-0.2	-	-	6.2	6.0	-	-	-	-
8	14 0.7-0.0-0.0	5.7	5.8	5.7	5.7	5.6	5.6	5.8	5.8
9	- 0.7-0.0-0.2	-	-	6.1	-	-	-	-	-

注) 分析はインフラライザー 500による

(2) アミロース(%, 玄米ふるい目1.90mm)

区番	施肥量 (Kg/a) 基-幼-減	ひとめぼれ刈取日 (月・日)				ササニシキ刈取日 (月・日)			
		9.4	9.12	9.19	10.1	9.4	9.12	9.19	10.1
1	10 0.3-0.0-0.2	-	-	21.0	-	-	-	17.9	-
2	11 0.3-0.2-0.0	22.2	20.7	20.4	20.6	18.6	19.1	18.1	16.7
3	- 0.3-0.2-0.2	-	-	20.4	19.3	-	-	-	-
4	- 0.5-0.0-0.0	-	-	19.4	-	-	-	-	-
5	12 0.5-0.0-0.2	20.0	19.1	18.7	-	18.1	17.8	17.7	17.2
6	13 0.5-0.2-0.0	19.4	17.2	17.1	-	17.6	18.1	17.3	17.0
7	- 0.5-0.2-0.2	-	-	17.0	16.6	-	-	-	-
8	14 0.7-0.0-0.0	17.2	17.2	16.5	16.5	17.8	17.4	18.0	17.8
9	- 0.7-0.0-0.2	-	-	17.1	-	-	-	-	-

注) 分析はオートアナライザーⅡ型による、標準は日本晴 (18.1%)

Ⅶ 育成従事者・選抜試験担当者氏名

1) 水稻新品種「ひとめぼれ」育成従事者氏名（宮城県古川農業試験場）

氏名	昭57		昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	
	交配	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10
佐々木 武彦	○	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	○	
阿部 眞三	○	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	○	
松永 和久	○	—————	—————	—————	—————	—————	—————	○	—————	○	○
岡本 栄治						○	—————	—————	—————	—————	○
丹野 耕一	○	—————	○								
千葉 芳則			○	—————	○						
狩野 篤						○	—————	○			
永野 邦明									○	—————	○
植松 克彦										○	○

注) 松永和久氏 ○ ——— ○ : 1987年4月～1989年3月まで海外出張

2) 水稻新品種「ひとめぼれ」選抜試験担当者氏名（岩手県立農業試験場, 同県南分場）

氏名		昭和63	平成1	平成2
県南分場	分場長	荻原 武雄	○ ——— ○	
	主任専門研究員	伊五澤 正光		○
	専門研究員	多田 勝郎		○
	専門研究員	木内 豊		○ ——— ○
	技師	菅原 浩視	○ ——— ○	
	技師	中西 商量		
岩手県立農業試験場				
技術部	上席専門研究員	上野 剛		○ ——— ○
	主任専門研究員	畠山 均	○ ——— ○	
	専門研究員	佐々木 力		○ ——— ○
	技師	扇 良明		○ ——— ○
	技師	小田中 浩哉		
環境部	病害虫科長	武田 真一		○ ——— ○
	専門研究員	赤坂 安盛		○ ——— ○

注) 職名は平成2年2月現在

(文責: 木内 豊)

---

岩手県立農業試験場研究報告 第30号

平成5年5月31日発行

編集兼  
発行

岩手県立農業試験場

〒020-01岩手県岩手郡滝沢村砂込737

TEL (0196) 88-4114

印刷所

永代印刷株式会社

盛岡市川目23-10

---